

あい
な
ん

議会

だより



第7号

2026.9

住民とともに歩む議会を目指して



愛南町児童発達支援センター取材しました。

議会ハラスメント防止条例、児童発達支援センター ほか
聞きたい知りたい議会のこと

p2-3

p4-5

議会をもっと身近に（議会中継をご覧ください）

p6-7

第2回南宇和高校魅力化ワークショップ報告 ほか

p8



町ホームページで
過去の紙面も
ご覧いただけます。

二次元コード
を読み取って
ご覧ください。



議会ハラスメント 防止条例を 制定しました！

6月議会で「愛南町議会のハラスメント防止等に関する条例」が全議員の賛成により可決・制定されました。この条例は、議員間または議員と職員との間におけるハラスメントの防止と排除に必要な事項を定め、良好な職場環境を確保するとともに、町民に信頼される議会の実現を目的としています。条例では、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントに加

え、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント、ジェンダーハラスメント、SOG（性的指向・性自認）ハラスメント、出自等に関する差別的ハラスメント、誹謗中傷や風評の流布なども対象とし、SNSなどによる行為や勤務時間外に生じたものも適用範囲としています。

また、議員はハラスメントが行う者の意図にかかわらず発生し得ることを認識し、他の議員や職員を一個人として尊重し、誠実かつ公正に職務を遂行すること、自らの行為にハラスメントが疑われる場合は説明責任を果たすことを責務として定めました。

さらに、相談窓口の設置や、必要に応じて弁護士などの専門家による公平かつ客観的な調査を行える仕組み、申立人の保護や守秘義務も規定しています。

この条例の理念を大切に、一人一人の人權が尊重される議会、そして町民の皆さまから信頼される議会づくりに努めていきます。



町ホームページ

感想



Stand by Women 代表
濱田 真里 氏

政治分野におけるハラスメントに詳しい濱田真里さんに「愛南町議会のハラスメント防止等に関する条例」の内容について感想をお寄せいただきました。

このたび、「愛南町議会のハラスメント防止等に関する条例」が可決・成立したことを、心よりお祝い申し上げます。

条例案の策定過程では、議員の皆さまによる検討に加え、例規審査機関によるリーガルチェックや全議員への意見照会、議員全員協議会での確認が重ねられたと伺いました。こうした丁寧な合意形成を経て条例が成立したこと自体に、大きな意義があると感じています。

本条例は、被害を受けた方の救済と議会環境の是正に重点を置いている点に特徴があります。近年問題となっているSNS上のハラスメントや差別的な言動

を明確に対象としたこと、匿名での相談を可能にしたこと、事情聴取における支援者の同席について本人の意思を尊重する仕組みを整えたこと、さらに、相談や申立てを理由とする不利益な取扱いの禁止を明記したことなどは、被害を受けた方が安心して相談するための重要な基盤となります。また、外部専門家の知見を活用しながら、是正指導や個別研修などを通じて再発防止を図る仕組みは、条例の実効性を高めることにつながるものと考えます。

条例の制定はゴールではなく、誰もが安心して議員活動や政治参加を続けられる環境をつくるための出発点です。今後、相談者の安全とプライバシーを守りながら適切に運用され、本条例がより活発で安全な議会環境づくりにつながることを願っています。

愛南町児童発達支援センター開所

(城辺保健福祉センター内)

同センターは困り事を抱えているおおむね18歳未満の子ども、その家族や支援者へのサポートを行うために設けられました。保健師、保育士、言語聴覚士などのスタッフが配置されています。



町ホームページ
(詳しくはこちら)

センターの事業としては

1 相談支援

発達相談の窓口として、本人、家族、支援者の相談に応じます。

23歳までを目安に就労支援も行います。

2 発達支援 家族支援

一人一人の状況に合わせて、通所により療育を行います。

また、家族支援やペアレントトレーニングを実施します。

3 普及啓発 研修

発達障がいについて
の情報発信や研修会を
実施します。

4 地域連携

関係機関と連携し、
協働しながら発達支援
の体制をつくります。

以上4つの項目で子どもや家族をサポートしています。

また、おれんじくらぶによる療育(0歳~高校3年生)も同センターの事業として実施しています。

障がいの有無にかかわらず、生活を送っていく上で困り事があればぜひ相談してください。

【お問い合わせ】保健福祉課 ☎ 72-1212



視察

予算や決算等の

審議方法はどうする？

愛南町議会運営委員会では、議会運営に関する事項について検討を重ねています。予算や決算等の議案の審議方法について、現在実施している本会議方式から委員会方式への移行も、その検討項目の一つです。

4月から6月にかけて、委員会方式の運用状況等を学ぶため、委員会方式を採用している宿毛市、宇和島市、小松島市および上島町の3市1町の議会を視察し、委員会における審議や、本会議での委員長報告等の議事進行等について学びました。4市町とも委員会審議、本会議で委員長が報告・採決を行っており、スムーズな議事進行も図られていました。

本町議会においても今後、円滑な議会運営を図るため、予算や決算等の議案の審議方法を委員会方式に移行するかどうか、今回の視察結果も踏まえて検討を進めていきます。



上島町議会視察の様子



小松島市議会視察の様子

各議員が、地域公共交通や教育、DX 推進、環境等の町政の広い範囲にわたって一般質問を行いました。



一般質問

金繁 典子



Kanashige Noriko



問 続く物価高で町民の暮らしが厳しくなり、資材高騰・不足などによりさまざまな産業が影響を受けているが、現状と対策は？

答 関係団体と連携しつつ、現場の声を踏まえた必要な対応を図っていき

問 国による水産業の担い手支援事業を今後、愛南町でも受けられるようにする対策は？

答 支援を受けられるよう公的協議会を早急に組織化したい。

問 山出の山頂に巨大風車を建設すると土砂災害、水脈や水質、御荘湾の漁業への影響が心配される。影響調査をすべきでは？

答 町独自の調査は難しい。事業者の調査結果を踏まえ県と協議したい。

尾崎 恵一



Ozaki Keiichi



問 南宇和高校叶夢センターの運営体制と人材確保について

答 叶夢センターは南宇和高校魅力化の中核を担う学習支援拠点であり、利用登録者は開設当初の89名から141名へ増加している。一方で講師の退職や異動により現在の体制では人員不足が課題となっており、町も増員の必要性を認めている。また、募集を行っても応募者の確保や指導教科人材とのマッチングが難しい状況にある。町は持続可能な人材確保を喫緊の課題と位置付け、地域人材の活用や生活支援の充実、勤務実績に応じたインセンティブの導入などを含め、体制強化に向けた調査・研究を進めると答弁した。

岡 雄次



Oka Yuji



問 中学校の部活動の地域移行の取り組みについて

答 現時点では愛南町部活動地域移行等推進懇話会を設立し協議を行っている。今後、地域クラブの設立などに向け、関係団体と協議を進めていく。

問 地域指導者の確保に向けた取り組みについて

答 現在、部活動指導員5名、部活動外部指導者16名を配置して教員をサポートしている。

問 地域の受け皿づくりについて

答 可能な部活動ごとに地域展開への体制づくりを進めていきたい。各中学校、スポーツ団体、文化団体等を交えながら、意見交換を始めていきたい。

山本 美佐



Yamamoto Misa



問 遊漁船制度改正による地域産業への影響は？

答 遊漁船業法等の改正に伴い、事業者の負担は増えるが、県や漁協と連携して相談対応や情報提供を行い、国・県等の支援策を調査・研究する。旅客船である西海観光船も含め、安心して利用できる海の観光を発信していく。

問 移住定住施策と空き家バンクの現状は？

答 空き家バンクの登録促進やホームページのリニューアル、SNSでの情報発信を進めるほか、町営住宅など既存住宅の活用を検討し、関係部署と連携した受け入れ体制を強化する。愛南町の魅力を発信し、移住しやすい環境づくりに取り組む。

田中 純樹



Tanaka Junki



問 都市計画の内容、マスタープラン策定における連携体制とは？

答 用途地域の指定や開発行為の規制などを担う庁内検討会議を立ち上げ全庁で推進。国・県・大学・医師会・商工会など14名で構成する懇話会で意見を反映させる。計画はおおむね20年先を見据え、令和9年度末の公表を目指す。

問 AI・DX活用に向けた職員研修と、段階的な業務改善の進め方は？

答 事務事業の見直しと研修を連動させ実務直結のトレーニングを行う。「生成AIを自分事として使う」意識付けを今年度の目標とし、書かないワンストップ窓口の設置にも全庁で取り組む。

問 公共施設のエレベーターへの防災チェア設置について、災害時の大規模停電や機械トラブルによるエレベーターの閉じ込めに備えて、エレベーター内に防災備蓄品を収納した防災チェアを設置すべきでは？

答 利用者の不安軽減やバリアフリーの観点から一定の有効性があるものと認識している。先行して本庁舎のエレベーターへの設置に向けて取り組んでいく。

他の施設については、動線の確保・利用実態・費用対効果等を個別に精査して設置の可能性について研究する。



Ikeda Eiji

池田 栄次



Kagiya Shigeru

嘉喜山 茂



問 高齢者等交通弱者の移動手段の対策は？

答 人口減少・高齢化で地域の交通事情は年々厳しくなっており、移動手段の確保は重要な政策課題。

一本松のタクシー休止は情報を把握後、タクシー事業者等関係者と協議を継続中。

今後、交通データの分析や専門人材の確保等、移動手段の確保対策を全庁横断的な体制で推進する。

DXを駆使した新技術やデマンド交通等の導入可能性について、研究を進めていく。

表決が分かれた議案(討論の概要および結果)

討論 令和8年度愛南町一般会計補正予算(第1号)について

南宇和高校の魅力化は、高校生や関係者が積み重ねてきた努力により大きな可能性を有しており、今後も町全体で応援すべき。一方で、寮建設は、県の関わりや入寮需要の見通し、津波浸水域への立地、町民への説明・合意形成など重要な課題が残されている。町民に対する議会の責任に鑑み、現時点では賛成するに十分な情報・条件が整っているとは判断できない。

人口減少が進む中、南宇和高校は地域の将来を支える重要な存在であり、その存続には全国募集の推進が不可欠である。また、全国から生徒を受け入れるためには、安全・安心な住環境となる学生寮の整備が必要条件であり、単なる施設整備ではなく、若者の学びと地域の活力を支える未来への投資であり、愛南町の将来を見据えた重要な取り組みである。



結果 →

賛成
10



反対
3

で

原案
可決



4/17 臨時会

討論 愛南町地域コミュニティ施設の使用料に関する条例の一部改正について

温浴施設の利用料金は、1,000円まで上げなくても現行条例でも100円アップの上限650円まで対応が可能。料金改定を急ぐ前に、住民や町外利用者の利便性、町や指定管理者にとってのメリット、施設の根本的な在り方を十分検討すべきであり、反対する。



結果 →

賛成
11



反対
2

で

原案
可決



6/4 定例会

討論 嘉喜山愛南町議会副議長に対する問責決議について

副議長の一般質問での発言を問題視した問責決議案に対し、発言は決定事項を否定するものではなく、議員の言論の自由の範囲内であると反論。問責に相当する重大な支障や職責逸脱は認められず、議会内の認識整理で対応すべきとして反対した。



結果 →

賛成
4



反対
8

で

否決



6/12 定例会

(除斥1)

議会をもっと身近に

あなたの暮らしに関わる議論が
ここで行われています。

町議会では、議会活動をより身近に感じていただくため、
ケーブルテレビ・インターネット・YouTubeによる議会
中継(生放送・録画配信)を行っています。



ぜひ一度ご覧ください！

予算、福祉、防災、教育など、皆さまの暮らし
に関わる議論が町議会で行われています。議会
を知ることが、まちづくりへの第一歩です。

なぜ議会中継をするの？

議会では、予算や条例、地域の
課題など、私たちの暮らしに
関わる重要な議論が行われて
います。議会活動をより多くの
町民の皆さまに知っていただ
き、町政を身近に感じていただ
くため、議会では情報発信の充
実に取り組んでいます。

現在の 放送状況

会 議 名	ケーブルテレビ		インターネット		Youtube
	生放送	再放送	生放送	録画配信	録画配信
本会議(定例会・臨時会)	○	○ (2回)	○	○	
予算・決算に係る 議員全員協議会	○	○ (2回)	○	○	
議会運営委員会					○

本会議等



インターネット
(愛媛CATV)

議会運営
委員会



YouTube
(愛南町議会)

スマートフォン
でも簡単に
視聴できます！



議会運営委員会 YouTube配信の現状

配信開始 令和7年11月～
平均視聴回数 212回(1本当たり)
チャンネル登録者数 21人
(R8.8.18現在)

・ YouTube配信をはじめました ・

議会運営委員会では、本会議の日程や議会運
営に関する重要事項を協議しています。しかし、
現状では視聴回数や登録者数はまだ少なく、多
くの町民の皆さまに届いているとは言えない状
況です。

今後の課題

今後、委員会等の放送をさらに拡大していくのであれば、

- どの程度視聴されているのか
- 町民へ十分周知できているのか
- どうすれば見やすくなるのか

といった視点から継続的に検証していく必要があります。

議会では、より多くの町民の皆さまに議会活動を知っていただけるよう、情報発信の充実と
視聴しやすい環境づくりに取り組んでいきます。



皆さんの声を聴かせて！

皆さんのなぜ？あれはどうなったの？これをしてほしい etc...
小さな声を集めて、大きな声にするのが、私たち議会の仕事です。
町民の皆さんからの「声」をお待ちしています。

皆さんの声は
こちらまで▶



町ホームページ

正副議長研修結果報告

5/26 全国町村議会議長・副議長研修会

5月26日、東京国際フォーラムにて全国町村議会議長会主催の研修会が開催され、本町議会議長・副議長を含め全国から約2,000名が参加しました。

「地方創生」「外国人材の確保・育成」「男女共同参画」の3つのテーマで講演が行われ、宮城県蔵王町議会の事例発表では、町制施行から69年間女性議員が不在だった同町が、模擬議会の取り組み等を通じて女性議員の誕生・活性化につながったという内容でした。

人口減少が進む中、女性や若者が政治に参加しやすい環境づくりは、地域の振興・活性化につながるものと考えます。今回の学びを、町民の皆さんが政治をより身近に感じられる議会運営に生かしていきます。



議員研修結果報告①

6/30 ハラスメント防止研修

6月30日、NPO法人こころ塾 中原未知生^{みちお}氏を講師に、議員対象のハラスメント防止研修を開催しました。

研修では、政治分野への女性参加促進を掲げる国の方針を背景に、ハラスメントは議員に限らず社会全体の問題であり、議会の信頼性の向上には避けて通れないテーマであると説明がありました。

特に、「無自覚な言動」や「昔からの慣習」がハラスメントになり得ること、普段からの関係づくりや自身の言動が今の社会常識とずれていないか点検することの大切さも学びました。

本町議会では、本年6月に制定されたハラスメント防止等に関する条例を踏まえ、町民に信頼される議会の実現に努めていきます。



議員研修結果報告②

8/4 県議長会「町議会議員研修会」

8月4日、ANAクラウンプラザホテル松山にて町議会議員研修会が開催されました。講演は、元所沢市議会議員 桑畠健也^{けんや}氏による「予算審査につながるための決算審査の勘所」、中央大学法学部教授 磯崎初仁^{はつひと}氏による「議員提案条例のすすめ—地方創生と議会の役割」の2つです。

桑畠氏からは、10年後の評価にも耐えられる議会に向けた決算・予算審査のポイント等について説明がありました。磯崎氏からは、人口減少時代における地方創生の現状と課題を踏まえ、議員提案条例の意義やつくり方、審議のプロセスについて説明がありました。

今回の学びを、決算・予算審査、政策づくりや条例提案の取り組みに生かしていきます。



傍聴 においでください!

議会の本会議や委員会を傍聴することができます。

本会議(定例会および臨時会)の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、議場の傍聴席で傍聴してください。

また、本会議は専用サイト(愛媛CATV)でインターネット中継を行っています。



愛媛CATV

委員会の傍聴

傍聴人受付票に住所・氏名を記入し、各委員会が開催される会議室で傍聴してください。

今後の予定

9月2日(水)~18日(金)

9月定例会

- ・正式には議会運営委員会で協議の上、本会議で決定します。
- ・本会議の開催日は町ホームページに掲載します。

編集後記

「議会だより」第7号、いかがでしたか?

近年はスマートフォンやパソコンの普及により、ニュースや情報を瞬時に得ることができる便利な時代になりました。私自身も日々、インターネットやSNSを利用し、多くの情報に触れています。

一方で、本や新聞などの紙媒体には、必要な情報だけでなく、ページをめくる中で思いがけない記事や新しい知識に出会える魅力があります。また、じっくり読み返しながら考える時間を与えてくれるのも紙媒体ならではの良さではないでしょうか。

情報があふれる時代だからこそ、議会だよりのような地域に密着した情報源の役割は大きいと感じています。全国ニュースでは知ることのできない、愛南町の身近な課題や将来につながる取り組み、議会でのどのような議論が行われているのかをお伝えすることも、議会だよりの大切な役割の一つです。

ぜひお手元でゆっくりとページをめくりながら、町の今と未来について考えるきっかけとしていただければ幸いです。

(尾崎)

第2回南宇和高校魅力化ワークショップ報告

6月30日、第2回南宇和高校魅力化ワークショップが開催され、生徒や保護者、教職員、地域の事業者、町議会議員、町職員など40人が参加しました。

今回は、第1回で出された意見を基に、「南光学」「学び」「部活動・放課後活動」「地域連携」「暮らし」の5つのテーマで、実現に向けた話し合いが行われました。

グループワークでは、それぞれの立場から率直な意見が出され、深い議論ができました。今後、こうした話し合いが具体的な取り組みにつながることを期待します。

一部事務組合議会

宇和島地区広域事務組合議会

7月10日、同組合議会臨時会が開催され、予算の繰越に関する2件の報告と住民サービスの向上と安全確保に直結する2議案が審議されました。

2件の報告は、令和7年度の一般会計および介護保険施設事業会計における予算の繰越計算書が報告されました。

2議案は、介護保険制度の改正に伴う特別養護老人ホームの利用料等の改定に係る条例の改正議案、宇和島消防署に配備する高規格救急自動車の更新に係る財産の取得契約議案で、いずれも原案どおり可決されました。

編集委員会メンバーのご紹介

やる気満々!

田中 純樹

岡 雄次

尾崎 恵一

嘉喜山 茂

山本 美佐

金繁 典子